

計画策定に関する現在の考え方等について

1. 利用希望把握調査について

子ども子育て支援新制度の開始に合わせて策定した藤沢市子ども・子育て支援事業計画が本年度末で終期を迎えることから、令和2年度から令和6年度までの5年間の一期とする第二期藤沢市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた基礎調査として、利用希望把握調査を5月に実施しました。

10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化の動向に関する情報を周知しながら、就学前児童及び小学校1～5年生の保護者1,200人を対象に、幼児教育・保育、放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業などの現在の利用状況と今後の利用意向を伺いました。

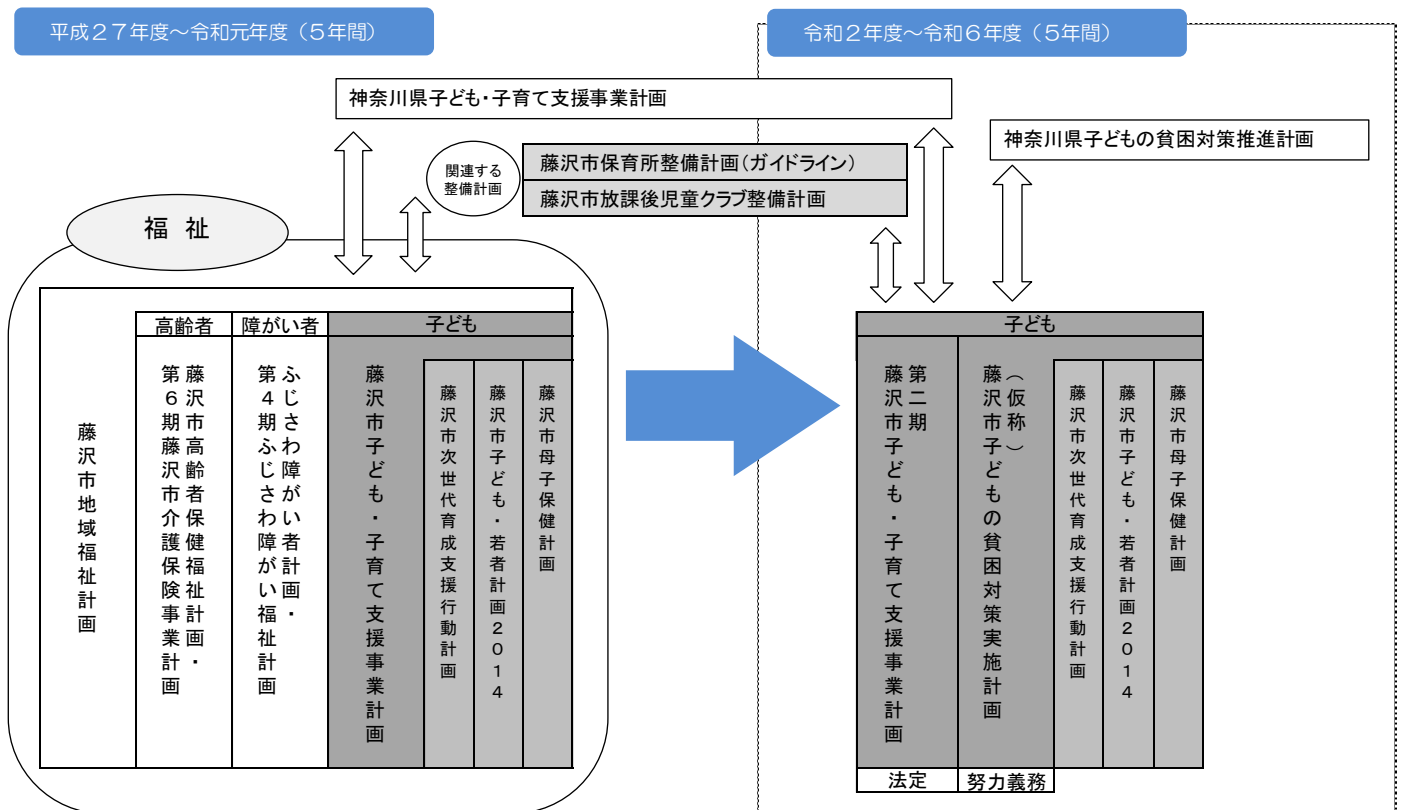
(1) 結果に関する速報

回収率 就学前児童 (0～4歳児) 約52%  
就学児童 (5歳児、小1～5年生) 約48%

2. 計画策定について

利用希望把握調査に基づき、第二期藤沢市子ども・子育て支援事業計画を、昨秋に実施した子どもと子育て家庭の生活実態調査に基づき、(仮称)藤沢市子どもの貧困対策実施計画を、それぞれ本年度中に策定します。

(1) 計画の位置づけ



(2) 計画策定に向けた庁内外の取組

ア 量の見込み等推計ワーキンググループの開催

利用希望把握調査の実施から、「量の見込み」「確保の内容」を推計する作業を行うにあたり、部内関係課で組織されたワーキンググループで、国からの発出情報に応じて情報を共有し、作業を進めている。

イ 藤沢市子どもの貧困対策連携会議の開催

切れ目のない子どもの貧困対策を推進するにあたり、子ども青少年部や福祉健康部、教育部など庁内関係各課等により組織された会議体で、月に複数回会議を開催している。

ウ 市民ワークショップの開催 8月3、10、24日

エ 講演会形式の催しの開催 11月下旬

(3) 全体スケジュール案（下線：第二期事業計画 無線：貧困実施計画）

4～6月 利用希望把握調査の実施

実態調査で把握した現状と課題の整理

- ・既存事業を課題、アプローチ別に整理し、空白の領域を見える化

7月 国の手引きに基づき、「量の見込み」を推計

空白領域への対策検討

- ・貧困対策連携会議においてグループワーク実施
- ・新たな事業や取組、既存事業拡充の検討（ワークシート）

8月 ワークショップの開催

9月 2計画の考え方、骨子の提出

11月 講演会形式の催しの開催

12月 2計画素案の提出

パブリックコメントの実施

2月 2計画案の提出

3月 2計画の刊行

以上